自分たちの住んじょる場所を知るほっちゃ！

下関市
Shimonoseki-city

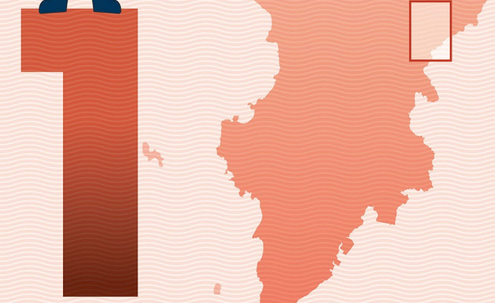
下関市洪水ハザードマップ

SHIMONOSEKI City
Flood disaster Risk & information

保存版

木屋川（三豊～西市）地区版

下関市メインキャラクター
「せきまる」



■ 令和3年3月 作成
下関市道路河川建設課　TEL 083-231-4034　FAX 083-231-1398

■ 問い合わせ先
下関市道路河川管理課　TEL 083-231-1370　FAX 083-231-1937
（避難情報等について）
下関市防災危機管理課　TEL 083-231-9333　FAX 083-231-9966
下関市役所豊田総合支所地域政策課　TEL 083-766-1050　FAX 083-766-2683

災害への心構え

下関市と災害の関係

下関市は、瀬戸内海(周防灘と関門海峡)と日本海(響灘)に面している。気候的には、沿岸部では、風が強く、降水量はやや少なく、比較的温暖と言われているが、近年は台風によるものが減少し、梅雨前線によるものが増加している傾向にある。集中豪雨は、活動が活発な前線が山口県付近で東西に停滞したときに起こるもので、このような状況のときは災害が起こりやすく注意が必要。

過去災害の記憶　平成22年(2010年)7月　山口県下関市豪雨災害

九州に停滞していた梅雨前線北上の影響で、7月12日から15日にかけて九州北部から山口県付近に停滞。15日未明から朝にかけて下関市や隣接する美祢市を中心に非常に激しい雨が降り、豊田町では1時間に72mmを観測、10日から15日までの総雨量は570mmで、7月の平均降雨量の1.5倍を超える大雨となりました。豊田町、菊川町および、吉田地区を中心に土石流被害、市域を流れる二級河川木屋川では、洪水により多数の浸水被害が発生。幸いに人的被害はありませんでしたが、土砂崩れ等により道路災害が発生し、通行止め箇所が70箇所、また木屋川流域を中心とし家屋の床上浸水被害63戸・床下浸水被害274戸発生、木屋川と田部川の合流部にある菊川浄水場では、冠水被害により菊川町で2,053戸の水道が断水となりました。

被害の状況（山口県）

人的被害	死者	0 人
	負傷者	0 人
住家被害	全壊棟数	3 棟
	半壊棟数	29 棟
	一部損壊	13 棟
	床上浸水	624 棟
	床下浸水	993 棟

出典：災害記録～平成22年7月15日大雨災害～（平成22年10月（山口県））

主な河川の特徴と災害リスク

木屋川（こやがわ）　河川合流部での広範囲な浸水被害
下関市東部に位置する流路延長 43.7km の県内有数の二級河川。上流の木屋川ダムを経て、中流域の豊田盆地・菊川盆地を大きく蛇行しながら、支川が合流するため、大雨時の氾濫で広範囲な浸水被害が起こりやすい。

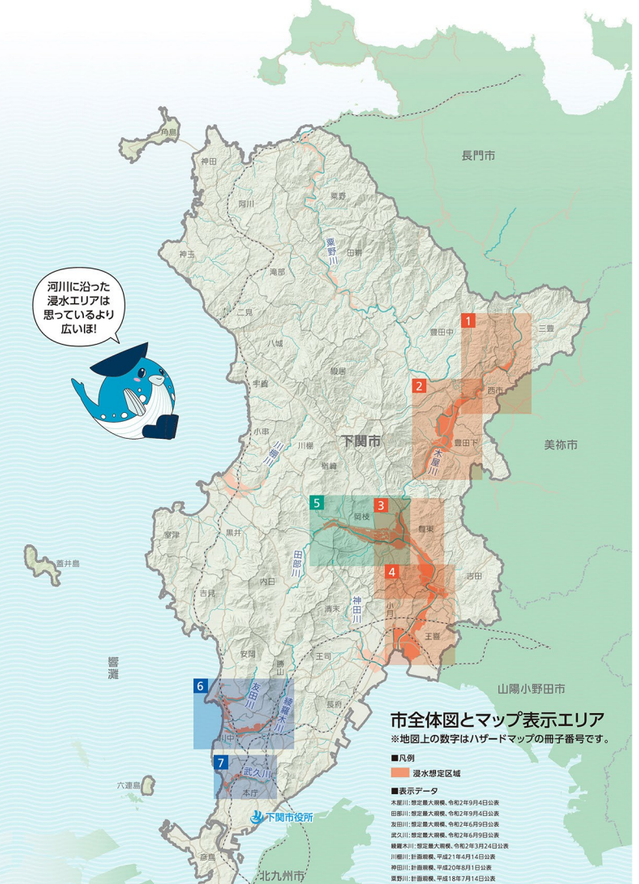
田部川（たべがわ）　側溝があふれる！内水氾濫の危険
田部地区では近年スーパーマーケットや住宅地が広がり、豪雨時に上流にあった水田によって貯水をすることができず、側溝に流れ込み行き場を失った大量の雨水であふれやすい。

友田川・綾羅木川（ともだがわ・あやらぎがわ）　河口付近で流水による家屋倒壊氾濫の危険
大雨により堤防が削られたり、水深・流速によって河川に近い建物の倒壊が想定される。

武久川（たけひさがわ）　住宅地付近の道路では冠水の恐れ
上流の丘陵地から住宅地および鉄道駅に向かい流れる、川幅が狭く深い河川。豪雨により水位が上がると、周辺道路で冠水する恐れがある。

防災ガイドブックの紹介

やまぐち防災ガイドブック
いざという時に、どう考え、どう行動すれば被害を軽減できるか学習し、防災への理解を深めるとともに、日常から実践するための詳しい情報を掲載。
https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10900/bousai/bousaiguidebook.html



防災情報

市や国からの情報を確認する

下関市ホームページ	ハザードマップ、指定避難所情報など http://www.city.shimonoseki.lg.jp	
防災やまぐち	山口県下の災害情報ポータルサイト http://www.bosai-yamaguchi.jp/pub_web/portal-top/index.html	
山口県土木防災情報システム	山口県の雨量／水位／ダムの観測・警報情報の入手 http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/kco_top.aspx	
国土交通省 川の防災情報	全国の雨量／水位、河川の予警報、ダム情報 http://www.river.go.jp/portal/#80	
しものまちアプリ	市政情報、地域の情報や日常生活に便利で役立つ内容を盛り込んだ下関市民のためのスマートフォンアプリ	

下関市 防災メール　携帯電話やパソコンなどで事前登録しておけば、気象情報・地震情報・避難指示などの避難情報をはじめ、交通安全・防犯情報、火災情報などの希望する情報をメール配信。
登録はこちら（空メール送信）
bousai-shimonoseki@xpressmail.jp

※しものせき緊急情報自動案内を ご利用ください。
屋外スピーカーなどから広報した内容や避難に関する情報などを確認できます。
ご利用には通話料金がかかります。
ハレバレ
0180-99-8080

困ったときの連絡先

逃げ遅れた	慌てず２階以上に移動する → 消防 119 に電話する → 救助を待つ
大けがをした	応急処置をする → 消防 119 に電話する → 救助を待つ
停電になった	中国電力ネットワーク株式会社　0120-614-208 に電話する
事件・事故がおきた	警察 110 に電話（海上での事件・事故は海上保安庁 118 に電話）
安否確認がしたい	災害用伝言ダイヤル 171 ／災害用伝言板 Web171 (https://www.web171.jp)

地域の消防・警察
豊浦東消防署
083-766-1315
長府警察署
083-248-0110

家族メモ　家族や大切な人の情報を記入しよう

住所		避難先		避難先までの道順　いくつかあると安心
電話番号	浸水深 m	電話番号		移動時間 分

名前	携帯電話番号	生年月日 / 血液型	日中の居場所（所在地）	電話番号	浸水深	近くの避難所 / 移動時間
		年 月 日 型			m	分
		年 月 日 型			m	分
		年 月 日 型			m	分
		年 月 日 型			m	分
		年 月 日 型			m	分

浸水の深さに合わせた避難と備え

①裏面のハザードマップを見て、自分の居場所の浸水の深さを知る

家屋倒壊等氾濫想定区域
河川沿いは要注意！
堤防が削られたり水深・流速によって建物の倒壊が想定される区域

マップの色／浸水の深さ

5～10m（2階屋根以上浸水）	木造住宅が流される！
3～5m（2階屋根まで浸水）	木造住宅が流される！
0.5～3m（2階床下まで浸水）	ひざ上を越えると歩行は危険！
0.5m 未満（1階床下まで浸水）	大人のひざ下くらい
浸水しない	

当てはまる□にチェック✓

外が明るいうちに雨が強くなる前に逃げる！

木造の平屋、2～3 階建て一軒家に住んでいる場合…

命の危険アリ！浸水が 3m を越えると家も流されるほ！

すでに浸水中や豪雨で外が危険にもう家から離れられない場合…

自宅が安全な場合は在宅避難なほ！

マンションの上階など浸水する深さより高い場所の場合…

②避難先を決める

自宅以外の安全な場所へ
事前に決めて、チェックを記入しよう

- □ 知人・親戚の家
- □ 指定避難所・指定緊急避難場所
- □ ホテル（事前予約して宿泊）
- □ 車中泊（安全な場所）※エコノミークラス症候群等に注意

今いる建物の上階／近くの高い建物へ

自宅で安全確保 在宅避難

自宅を離れる際の注意点

避難の時は足元注意!特に用水路!
道路が冠水し、泥水に覆われると、危険な場所の見分けがつかなくなる。特に注意すべきは用水路!車で避難する場合、用水路がある道はできるだけ避けよう。浸水している場所を歩くときには、棒などでマンホール、側溝、田畑、用水路を確認し、注意して避難しよう。水の深さが膝を超えると歩行が難しくなる。

流れが速い場合などは状況が異なります。目安として知っておきましょう。
男性……水位 70cm
女性……水位 50cm
子ども…水位 20cm

車での避難の危険性
周りの水位が上がり、車内から脱出できなくなってしまうおそれがある。冠水して止まってしまった車がエンジンをかけると、破損が深刻化したり、感電・発火の可能性があり、大変危険!

浸水する深さ／車の状況

50cm～	車が浮く。パワーウィンドウが作動せず、車の中に閉じ込められてしまう。車と共に流され、非常に危険な状態。
30～50cm	エンジンが停止。危険な状態。急いで車から退出しないといけない。
10～30cm	ブレーキ性能が低下。安全な場所へ車を移動させる必要がある。
0～10cm	走行に関しては問題ない。

感染症対策　自宅以外へ避難する場合
□ 不織布マスク　□ アルコール消毒液
□ 体温計　□ 固形石鹸
□ 使い捨てビニール手袋　□ ビニール袋
□ スリッパ　□ 除菌シート

指定避難所・指定緊急避難場所
指定緊急避難場所

在宅避難の備え

最低3日間～7日間程度の備蓄を準備！ローリングストックで備蓄
買い置きのものから定期的に食べて、食べた分を買い足し、備蓄していく方法。常に品目、量を保ちながら、多めに備えているものを日常生活の中で消費していくため、特別な準備は必要ありません。

あなたの家や地域を点検☑して、整備しよう

● 床下浸水から家を守る
□ 土嚢（どのう）を準備
玄関や床下換気口に「土嚢」を設置することで、道路から住宅内への浸水被害を最小限におさえることができる。

● 水害による家屋被害を抑える
□ 排水溝　□ 窓／雨戸
□ ベランダ　□ 屋根・雨どい
□ ブロック　□ ゴミ箱・植木鉢
□ 外壁　□ 店などの看板
□ 板塀

● 暴風雨から窓ガラスを守る
□ 防災フィルムで窓ガラスを保護
暴風時は飛来物で窓ガラスが割れてしまうことがある。シャッターのない窓の場合は防災フィルムで保護しよう。

③災害時の行動をシミュレーションする〈土砂災害・洪水〉

④避難のタイミングを決めて、災害時にとるべき行動を整理する

雨の降りかた	気象情報	河川情報	警戒レベル	避難行動
大雨の数日前～約1日前 大雨の可能性が高くなる 大雨の半日前～数時間前 雨が降り始める。雨が強さを増す ・河川の増水、道路の冠水 ・家の床下浸水のおそれ	雨 大雨・洪水注意報 災害が起こるおそれ	河川 氾濫注意情報 氾濫注意水位 避難情報の発表目安となる水位 河川（水位観測所） 木屋川（長正司） 3.20m	LEVEL 1・2 気象庁が発表	避難に備える ハザードマップやマイ・タイムラインで自分がすべき行動を確認。
大雨の数時間前～2時間程度前 ・河川の更なる増水による氾濫 ・道路の冠水 ・家の床上浸水のおそれ	大雨・洪水警報 重大な災害が起こるおそれ	氾濫警戒情報	LEVEL 3 下関市が発令 危険な場所から高齢者等は避難！	高齢者等避難 （※令和3年出水期から運用） ・避難に時間がかかる方（高齢者・障害のある方・妊婦・乳幼児等） ・土砂災害警戒区域に住んでいる方 ・水位上昇のおそれがある河川沿いに住んでいる方 上記の方は速やかに避難を開始しよう。その他の方は避難の準備を整えておこう。
・大雨となる ・大雨が一層激しくなる ・洪水や土砂など大災害発生のおそれが極めて高い状況	記録的短時間大雨情報	氾濫危険情報 氾濫危険水位 河川氾濫のおそれがある水位 河川（水位観測所） 木屋川（長正司） 4.50m	LEVEL 4 下関市が発令 危険な場所から全員避難！	避難指示 （※令和3年出水期から運用） 危険な場所にいる人は速やかに避難する。 避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所、自宅内のより安全な場所に移動しよう。
広い範囲で数十年に一度の大雨	大雨特別警報 大災害への警戒が最大級の警戒	氾濫発生情報	LEVEL 5 下関市が発令 命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保 （※令和3年出水期から運用） すでに災害が発生又は切迫している状況。命を守るための最善の行動をとろう。

水位はインターネットで確認。上流にあるダムでは、大雨が降ってダムの水量が増えた場合、下流への放流調整が行われる。ダムの洪水調節情報にも注意!

⑤家族で話し合ってシミュレーションしよう

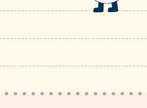
マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは？「洪水が発生しそうな、危険な天気になりそうだ…!!」という状況で、いざ避難の準備をしようと思っても、何から手をつければ良いのかわからない…。そんな時に備え、防災に対する自分の行動を時系列で整理した計画表が「マイ・タイムライン」である。

記入例

- ・気象情報の確認
- ・河川の水位をインターネットで調べる
- ・非常用持出袋の確認
- ・貴重品管理

避難先&避難経路を再確認



要配慮者避難開始

・ブレーカー・ガス・元栓を閉める

避難開始!

・実家の両親に電話で状況説明

避難先に到着

・避難した ことを知人や親戚に伝える
・情報収集

すでに災害が発生している状況
記入例を参考に、避難時の行動を書いてみよう。
家族構成やペットの有無などによって様々なマイ・タイムラインができあがるよ。
職場や学校にいるときに天候が急展開する可能性もある…。
そんな時、誰がどう行動すべきか？ 色々な状況を想定して備えよう!

自然が相手だから、マイ・タイムラインどおりに進行するとは限らない。あくまで行動の目安として備えよう。
気象情報・避難情報などはこまめにチェックしよう!